

令和元年 8 月 8 日



## 広 報 資 料

【問い合わせ先】

第一管区海上保安本部交通部

安全対策課長 植田 聖純

TEL 0134-27-0118 (内線 2640)

# プレジャーボート海難多発！

～ 過去 5 年で最多ペース～

プレジャーボート海難が過去 5 年と比較して最多ペースで推移しています。

海難の中には、発航前の点検実施等により防げたものもあることから、各海上保安部署では海難防止講習会及び訪船指導を行うなど指導を強化していきます。

令和元年 7 月末日現在、第一管区海上保安本部管内では平成 31 年 1 月から令和元年 7 月の 7 ヶ月間でプレジャーボートの海難が 25 隻（ ）発生し、過去 5 年（平成 26 年～平成 30 年）の同時期の平均海難隻数 15 隻を大幅に超え、昨年同時期と比べても 12 隻増加となっています。

海難発生場所については、後志地方が 9 隻と最も多く、続いて渡島地方・胆振地方が各 4 隻、石狩地方が 3 隻となっています。

海難種類別では、「機関故障」と「運航阻害（燃料欠乏、バッテリー過放電等）」が多く発生し、いずれも当庁及び救助団体（日本水難救済会）等の所属船舶により救助されました。

これらの海難は、波浪による転覆、磯・浅瀬への乗揚げ、他船との衝突など、二次海難に繋がるおそれがあり非常に危険です。

当本部では、多発するプレジャーボート海難を重く受け止め、プレジャーボート運航者に対し、発航前における、船体とエンジン周りの点検、燃料残量の確認及びバッテリーの状態の点検の 3 点の実施を海難防止講習会や訪船指導等で各海上保安部署の海上保安官が呼びかけるとともに、マリーナ等へも依頼し、指導の強化を図ります。

（ H31.1.1 から R1.7.31 までの速報値 ）

### 参考資料

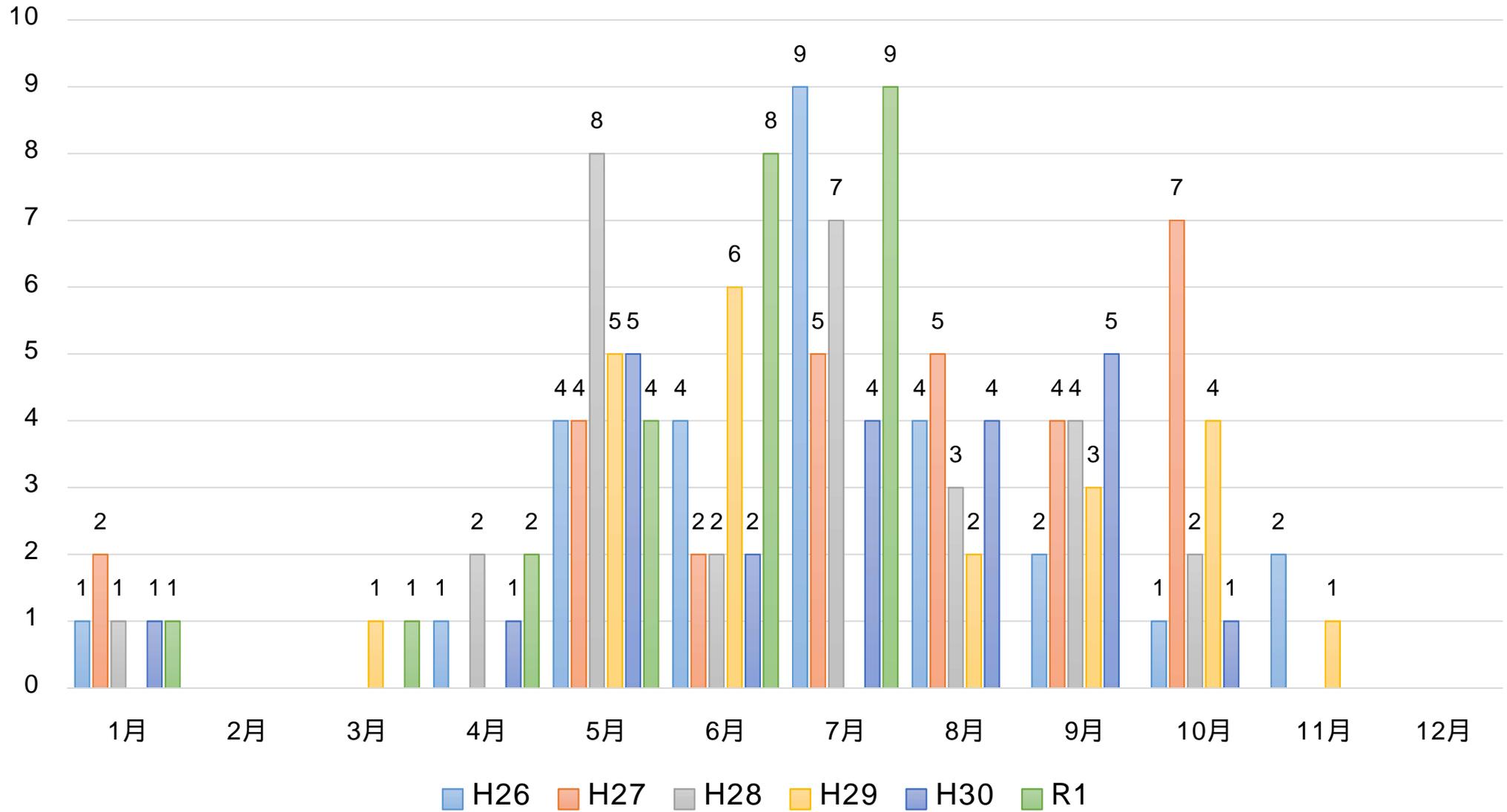
資料 1：プレジャーボート海難の発生状況及び推移

資料 2：令和元年 7 月末日までのプレジャーボート海難発生位置

# P B 月別海難発生状況 (H26.1 ~ R1.7)

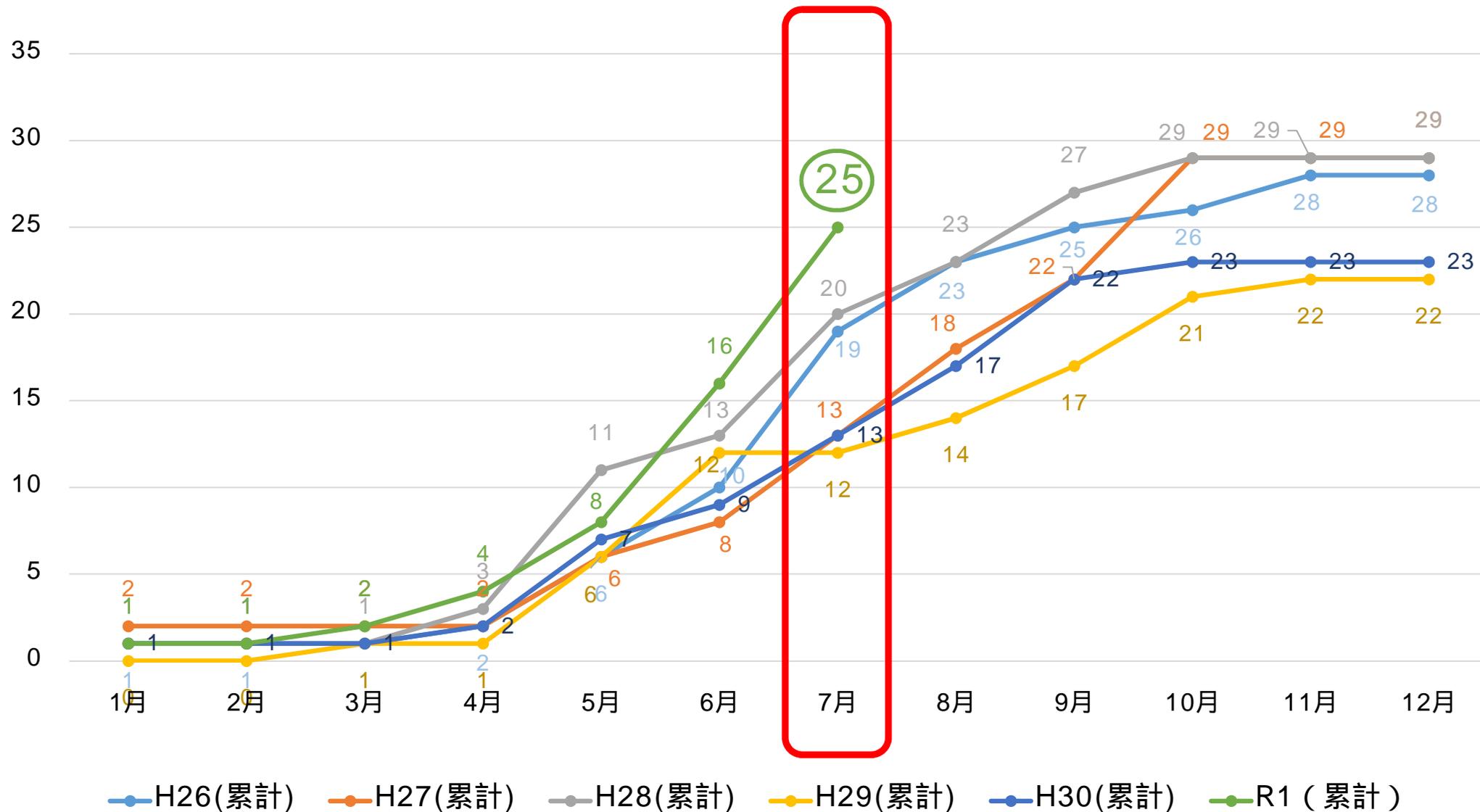
資料1

単位(隻)  
月計



# P B 海難発生状況推移 (H26.1 ~ R1.7)

単位(隻)



# P B 海難発生場所 (H31.1-R1.7)



# P B 海難発生場所 石狩～胆振地方 (H31.1-R1.7)

